

2022（令和4年度）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
せせらぎの里 短期入所

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①利用者の人権を守り、主体的で健康的な生活が送れるよう、個々のニーズに基づいた、適切かつ効果的なサービスを提供する。

→個々のニーズを受けとめ、本人・保護者のなるべく希望に沿ったサービスの提供を行った。

②安全で、居心地の良い環境を提供する。

→施設内の危険な箇所や安全面の確保はもちろんのこと、住みやすさなどを考慮した環境面の改善や工夫を行った。

③日中活動事業所、その他関係機関等との連携を密にし、切れ目のない支援を提供する。

→日中活動事業所と利用者の健康面や普段の様子等の情報交換を実施した。日中活動事業所と連携を密に行い、利用者の滞在時間やグループホーム職員との関わりを持てるような取り組みを継続して行った。

④介護者の高齢化や親亡き後などを見据え、地域のネットワーク支援体制の構築を図るために、地域生活支援拠点等としての機能を担う。

→相談支援事業所や社会福祉協議会等と連絡を取り合い、利用者の支援に向けて動いた。

2. 施設概要

（1）施設種別 指定短期入所（併設型）

（2）利用定員 1名

（3）所在地 東京都東村山市多摩湖町二丁目5番地36

（4）開所年月 令和2年10月

（5）施設規模 敷地面積 198.36㎡

延床面積 158.16㎡（小屋裏収納含む181.34㎡）

専用部面積 9.93㎡

建物構造 木造2階建て
賃貸区分 (土地) 法人所有 (建物) 法人所有

3. 職員構成

職 種	配置人数
管理者	1名(兼務)
サービス管理責任者	1名(兼任)
生活支援員(常勤)	1名(兼務)
生活支援員(非常勤)	7名
合 計	9名

4. 対象利用者

主に知的障害のある男性

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
5:30～ 6:30	起床
5:30～ 8:00	身支度
6:30～ 7:00	朝食
7:00～ 8:50	事業所へ通所
15:40～ 19:00	帰寮
16:00～ 21:00	入浴、洗濯
18:00～ 20:00	夕食
22:00～	就寝

(2) 土曜日(日中活動事業所 通所日)

時間	内容
5:30～ 6:30	起床
5:30～ 8:00	身支度
6:30～ 7:00	朝食
7:00～ 8:50	事業所へ通所
15:40～ 19:00	帰寮
16:00～ 21:00	入浴、洗濯
18:00～ 20:00	夕食
22:00～	就寝

(3) 土曜日(日中活動事業所 休所日)・祝日・日曜日

時間	内容
5:30～	起床

5:30～	身支度
6:00～	朝食
12:00～	昼食
16:00～ 21:00	入浴、洗濯
18:00～ 20:00	夕食
22:00～	就寝

6. 重点目標

- ①利用者の人権を守り、個性・特性に配慮した自立の助長につながる環境を整備する。
→事前に保護者と面談を行い、本人や保護者のニーズを確認し、利用者の特性に合わせた配慮を実施した。利用者が出来ることは見守りを行い、苦手とすることは介入した。
- ②日中活動事業所、その他関係機関との連携をとり、効果的なサービスを提供する。
→現在短期入所を利用されている方は日中活動先が同法人の為、連携して本人の特性なども把握し効果的なサービスを実施した。

7. 感染症対策

- 感染症マニュアルに基づき、感染症又は食中毒が発生、又はまん延しないように必要な措置を講ずる。
→コロナウイルス感染やノロウイルス等の感染症が起こらないように消毒の実施や利用者への声掛け、啓発などを実施した。

8. 職員研修

法人内研修や外部研修に積極的に参加し、利用者の人権擁護・虐待防止やサービスの質の向上に努める。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
第1回障害者グループホーム従事者基礎研修	7月6日	東京都委託 (株)アイディ	武蔵野スイングホール	齋藤正昭
第2回障害者グループホーム管理者研修	10月21日	東京都委託 (株)アイディ	武蔵野スイングホール	齋藤正昭
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	9月5日	公益財団法人東京都福祉保健財団	Web	齋藤正昭
社会福祉事業従事者人権研修Ⅱ	12月26日	東京都福祉保健局	東京都福祉保健医療研修センター	齋藤正昭
強度行動障害者支援者養成研修	1月27日～ 2月7日	東京都保健福祉財団	Web	清水元宏

9. 職員会議

利用者が安心して生活を送ることができるよう、情報共有や研修などを目的として、月1回職員会議を行う。

→職員会議は基本毎月開催予定であったが、8回の開催となった。普段より清水職員と連携を取り、短期入所の状況等を把握した。

10. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護

(1) 苦情解決

①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。

②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。

→苦情解決への仕組みや苦情窓口を記載したポスターを掲示し、利用者に分かりやすいように行った。実際に窓口を相談する事案は起こらなかったが、保護者よりこのようにしてほしかったとの報告を受けた場合は、内容を把握し次回の利用時に取り組みをした。

(2) 個人情報保護

個人情報保護規定に基づき、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切且つ安全に扱う。

→個人情報が外部に漏れないようにデータ管理を行った。

(3) 人権擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当者を配置し、必要な支援体制の整備を行う。

②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。

③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

→虐待防止の為に苦情受付のポスター等を掲示し、虐待マニュアルを全職員が目につく場所に設置し、内容の把握をしてもらえるように努めた。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたる。

→セクシャルハラスメントが起こらないように注意喚起を実施し、防止に努めた。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	清水 元宏	042-306-2750
担当者	齋藤 正昭	同上
第三者委員		

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	清水 元宏	042-306-2750

担当者	齋藤 正昭	同上
-----	-------	----

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	清水 元宏	042-306-2750
担当者	齋藤 正昭	同上